

普及活動情勢報告（令和５年６月分）

中央東農業振興センター 嶺北農業改良普及所

奨励品種決定調査現地調査の移植をしました



健全な苗で順調に
進んでいます！

５月２４日、普及所は農家に委託して奨励品種決定調査現地調査のための水稻の苗を移植しました。

品種は「にこまるＢＬ１号」や「越南３０４号」など５品種で、移植後、普及所が苗質調査を行いました。品種の特性上すでに品種間で生育に差がみられたものもありました。

普及所は引き続き、出穂期及び成熟期に収量・品質についての調査を行うとともに、栽培期間中の病虫害防除についての指導を行います。

効果的な病虫害対策の推進に向けて ～ＩＰＭ研修会の開催～



説明する普及指導員

５月２６日、高知県農業協同組合理いほく園芸部ＩＰＭ研究会は研修会を開催し、生産者１７名が参加しました。

研修会には環境農業推進課 病虫害担当専門技術員を招き、ＩＰＭ技術を活用した防除対策というテーマで研修を行いました。

研修会を開催するにあたって、普及所は内容等についてＪＡと協議し、講師との連絡調整等を行いました。

生産者からは「カイガラムシを防除するには、どの時期に農薬を散布すれば良いか」等の質問があり、ＩＰＭ技術の実践について活発に意見交換が行われました。

普及所は今後も、関係機関と連携して病虫害対策を進め、嶺北地域の産地振興を図ります。

嶺北産地の維持発展に向けて

～嶺北地域園芸戦略推進会議・ＪＡ高知県れいほく園芸部役員会～



農福連携や担い手対策について説明する普及指導員

６月９日、ＪＡ高知県れいほく支所で嶺北地域園芸戦略会議並びにＪＡ高知県れいほく園芸部役員会を開催し、生産者、ＪＡ、普及所から計１８名が出席しました。

推進会議では本年度の業務分担や体制を確認し、れいほく八菜の課題や問題点に対する各取組について協議しました。

また役員会ではれいほく八菜の販売促進に向けた取組について情報共有されたほか、普及所からは産地動向と担い手確保対策と、地域の障がい者等に向けた農作業体験会や試行就労受入体験への支援について、意見交換と説明を行いました。

普及所は今後も、生産者や関係機関と連携して、営農指導・販売促進・品質管理向上の各方面から普及活動と支援を行っていきます。

夏に向けた栽培管理と対策を！ ～ししとう部会目慣らし会～



栽培管理について説明する
普及指導員

6月12日、J A高知県れいほく支所でししとう部会目慣らし会を開催し、生産者23名を含む計29名が出席してシシトウの規格や出荷時の注意事項などの情報共有が行われました。

普及所からは、かん水施肥・整枝・高温対策などの夏期に向けた栽培管理について説明したほか、農作業中の熱中症に対する注意喚起を行いました。

今後も普及所は、J Aと連携して生産者に向けた情報発信を行い、シシトウの高品質安定生産を支援していきます。